



市では、今後、市民の皆さんとともに中津川の将来像を考え、まちづくりビジョンを策定し、方向性をまとめていきたいと考えています。その第一歩として、11月8日の落合地区を皮切りに、12月2日の苗木地区まで、各地区で車座懇談会を開催しています。

懇談会では、リニア中央新幹

### 各地で車座懇談会を開催

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。今月は、市のまちづくりに向けた取り組みについてお伝えします。

リニア中央新幹線に関しては、今年6月の環境影響評価計画段階配慮書の公表に続き、9月には、環境影響評価方法書（以下方法書）が公告され、縦覧や意見募集、さらには説明会（10月20日、健康福祉会館）も開催されました。

環境影響評価の手続きは、今後、約2年をかけて実施される見込みです。リニア建設に向けた手続きは、順調に進められています。

## 夢の実現へリニア中央新幹線 ② まちづくりに向けた市の取り組み

線の開業に向けて、波及効果を最大限活用したまちづくりを市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら進めるため、路線や中間駅、車両基地に関する説明や、環境影響評価の手続き、国や県、市の取り組みなどについて説明をさせていただきたくともに、参加者から貴重なご意見やご質問をいただいております。

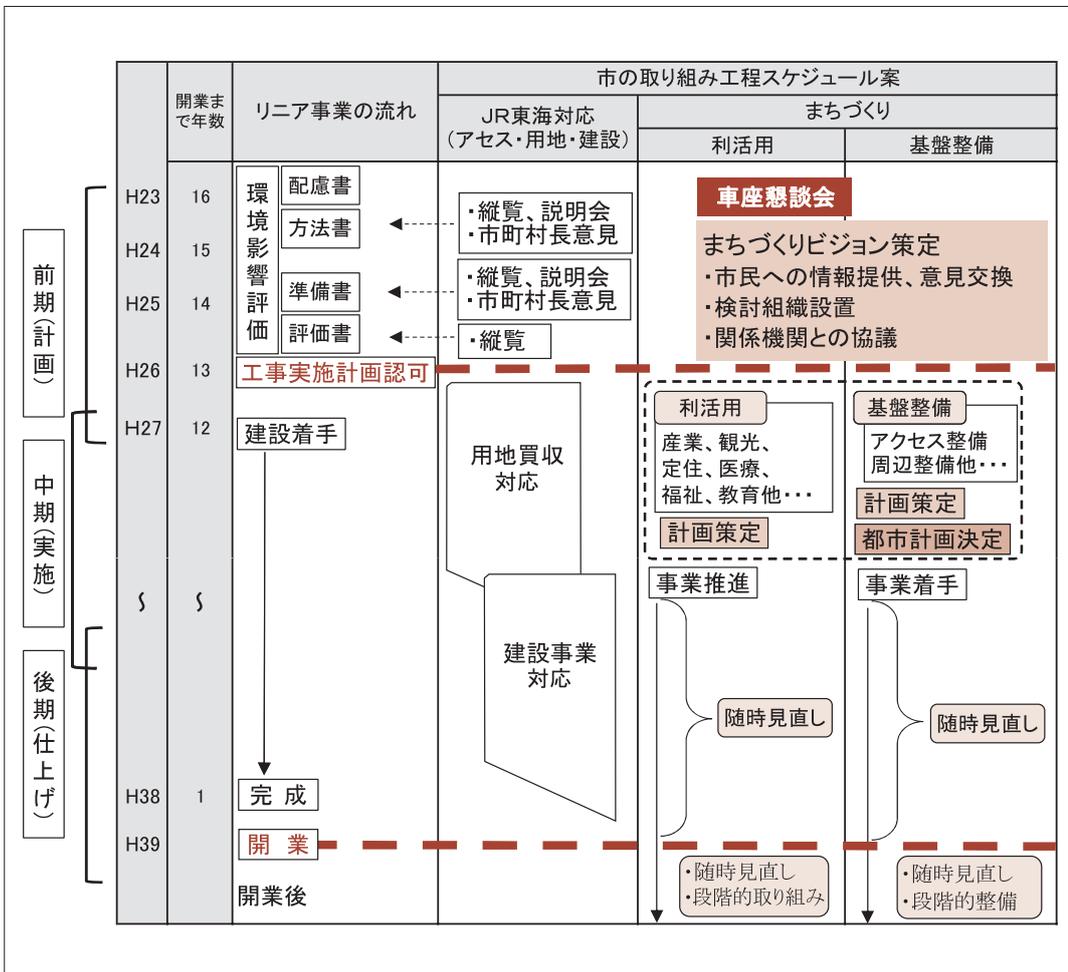
いただきましたご意見やご質問は、今後のビジョン策定などの取り組みに反映させてまいります。

### 今後の取り組み

市としては、開業までの16年間にJR東海の事業推進とリンクした形で、JR東海事業への対応とリニア時代に向けたまちづくりに取り組んでいく必要があります。

また、開業までを前期（計画）、中期（実施）、後期（仕上げ）として3期に分け、期間ごとに取り組む主な事業を整理しました。

- **JR東海事業への対応**
  - 前期・環境影響評価手続き対応
  - 中期・用地買収対応
  - 後期・建設事業対応
- **リニア時代に向けたまちづくり**
  - 前期・まちづくりビジョンの策定
  - 中期・まちづくりビジョンを基に、産業、観光、定住推進を柱とした具体的振興策の検討および推進



道路網や周辺整備の計画策定および事業着手  
 後期・具体的振興策の推進  
 ・道路網や周辺整備事業の実施  
 事業は、長期にわたることから、その間の社会経済情勢の変化に的確に対応していく必要があり、さらに、まち

づくりは「開業以降が本番」であることから、健全財政を堅持しながら段階的なまちづくりと柔軟な計画の見直し等を行っていくことが重要であると考  
 えています。

問 リニア推進課（☎内線 322）